

空は深さを増し草木は色づき、産直市場で買った山栗に舌鼓を打ちました。錦秋を迎えています。開け放した窓から入る心地よい風の中、学校でも子どもたちの笑顔が輝いていることと思います。現状、何とか落ち着きを見せている感染症がこのまま終息してくれることを願うばかりです。

本日は、二点についてお話しします。

○学校訪問から

現時点で、全校の半分ほどに当たる18校の学校訪問が終わりました。全ての学級を参観するため、一クラス当たりの参観時間はどうしても短くなってしまいますが、学級経営の状況や授業づくりの工夫等は、見て取ることができます。いずれの学校においても、子どもたちの発奮した挙手や息の長い発言、そして授業に集中した時の張りつめた静寂さなど、子どもたちの一生懸命の学びの姿が随所に見られ、コロナ禍に負けないで元気に頑張っている子どもたちの様子に頼もしさと安堵感を覚えました。

今、子どもたちは、新しい生活様式を守り、机を離して全員黒板方向を向いて授業を受けています。本来であれば、話し合いによる課題解決の授業などでは、コの字型や扇形の座席隊形が望ましいものです。子どもたちは多感で敏感です。とりわけ周りの友達の動きや雰囲気は無意識に感受します。隣の友達の熱意が伝わるためには、座席は近いほうが良いし、話し合いが学級全員を巻き込んでいく勢いに発展していくためには、子ども同士がアイコンタクトしながらお互いの表情を確かめ合えるような座席配置が適しています。当面、給食時はマスクを外すため、会話を控えるのはやむを得ないとしても、授業中については、感染状況に充分気をつけながら、場面に応じた指導を考慮していく必要を感じています。

○書く力について

校長先生による学校概要の説明の中で、現状の課題の一つとして、書く力の育成を挙げられた学校がいくつかありました。これは本市の小中学校全体で取り組んでいきたい課題だと思います。論理的な思考力は、現行学習指導要領においても全教科・領域で重要視されている能力ですが、文章を書くためにはとりわけ不可欠です。文章を書く上で必要な、論理的思考力を、国語教育的あるいは作文教育の視点から考えると、認識力と言語表現力によって構成されているように思います。認識力の育ちについては明言する見識を持ち合わせていませんが、言語表現力については、児童生徒の作文や発言の育ちをもとに考えると、文体と語彙が支えになっていることは確かです。とりわけ優れた文体に親しむことの重要性は、古くから言われているとおりです。そのための音読や視写などの教育活動であり、読書の価値にも繋がっています。先日、西尾信用金庫様から全ての小中学生に読書通帳をいただきました。この機に読書に親しむ子どもたちを増やしたいと思います。私たちは読書指導の秋としましょう。